



子育てクイズ

ベビーサインは 何歳まで有効？

- ① 5歳
- ② 3歳
- ③ 1歳



↓↓ 詳しい解説は次頁へ ↓ ↓



特集テーマ

イヤイヤ期をのりきる！ ベビーサイン

ベビーサインとは 気持ちを伝え合うコミュニケーション

イヤイヤ期は、子どもの自我の急成長により、自分の気持ちをうまく伝えられないことによるモヤモヤやイライラが原因のひとつです。子どもの気持ちが分からない…気持ちをうまく伝えられない…そんな時は、ベビーサインを使うととても有効です。気持ちが分かり合える回数が増えると少しずつイヤイヤが減っていきます。



ベビーサインは おおよそ5歳まで有効！ 態度面にも影響！

3歳以降は言葉を喋れるようになり、ベビーではありませんが、ベビーサインを取り入れると、行動や態度面で効果が出てきます。気持ちの切り替えなどの自己コントロール力が身に付き、我慢する力や姿勢なども良くなっていきます。そういう意味でもおおよそ5歳くらいまでは有効です。

言葉とベビーサインで気持ちを伝え合って、イヤイヤ期を乗り切りましょう！



ベビーサインには

決まった型はない! 自由に決めよう!

ベビーサインに決められた型はありません。お互いに気持ちを伝えやすい型を、自由に決めてみましょう。子どもが実際にできる簡単な動作を取り入れ、単語（言葉）を発しながら使ってみましょう。

今回はいくつかベビーサインを紹介します。ぜひ参考にしてみてください!

にこにこ笑顔 しあわせサイン



手をほっぺに当てて
にこにこ笑顔。
嬉しい! 楽しい!
幸せ! を伝えよう。

両手を重ねて ちょうだいサイン



両手を重ねて
ちょうだいな。
貸し借り、片付け
いろんな場面で。

気持ちを区切る おしまいサイン



「お・し・まい!」
と手を叩く。
ゆっくり育てよう
終わりの概念。

他にもいろいろ!

静かにしようね
しーっ



やったね!がんばったね!
ハイタッチ



ダメ!の代わりに
ばーっ



おしりペツタン
おすわりん



ステキなあいさつ
おじぎペッコ

